

## テーマ

## みんなと一緒に育ちあおう！～写真を使っての子ども理解～



- 交流会後の対象園児の状況報告
- 地域リーダーとしての取組、自園・市町村での取組の成果と課題の報告
- 親育ち支援地域リーダー研修会に向けて



### ○自園での取り組み

#### 【成果】

- ・ 保護者支援に対する共通理解を深めることができた
- ・ 対象園児の背景や育ちをより丁寧に探り、その子の育ちにあった支援方法を様々な視点から考える機会となった
- ・ 写真を使って子どもの育ちを伝えようとするなど、園全体の親育ち支援に対する意識が変わってきた

#### 【課題】

- ・ 5つの資質・能力の見極めやファシリテーション力など専門性のスキルアップが必要である
- ・ 継続的に研修会へ参加するなど、学びの機会を増やすことができなかった
- ・ それぞれで行っている支援、その子ども・保護者の情報を園全体としての共通理解にすることが難しかった

### ○市町村での取り組み

#### 【成果】

- ・ 村内の全園が交流会に参加し学びを共有できた
- ・ 主管課が連絡会・交流会に参加することで一緒に地域の取組に対する理解を深めることができた
- ・ 交流会の学びを各園に持ち帰り職員会などで共有することで、「親育ち支援は日頃から自分たちがしていること・するべきこと」だと確認できた

#### 【課題】

- ・ 主管課・市町村内の園とつながり、市町村として一緒に親育ち支援に取り組むことが難しかった
- ・ 学びや交流の場を広げたいが、講座やワークショップなどを思うように企画できていない



改善するために…



- ・ 子どもや保護者の小さな変化に気付けるよう、洞察力を養う
- ・ 日頃から、子どもの気になる姿に対して発達の課題が話し合える機会をつくる
- ・ 他園の地域リーダーと声を掛け合い、互いの園内研修に参加するなどして、経験を積む
- ・ 研修に参加できない職員にも研修の模造紙を使い、意見交流できる場を設定する(全員が参加できるように付せんを活用するなど)

- ・ 管理職を巻き込みながら、横のつながりをつくるタイミングを計り、チャンスを逃さないようにする
- ・ 市町村内各園の親育ち支援担当者をつなぎ、そのつながりを活かして取組をすすめていく
- ・ 企画は年度初めに親育ち支援年間計画に落とし込むようにし、学びや交流の場を確保する